

大山上池・下池

(おおやまかみいけ・しもいけ)



ハスの花の収穫



冬の高館山と下池

ため池の概要

ため池の所在地

山形県鶴岡市

ため池の特徴

大山上池・下池は、平成20年10月にラムサール条約湿地に登録された国際的に重要な湿地です。

池は、1669年の大山町図に記され400年程前に築かれたと伝えられるため池で、現在も庄内平野の営農を支えています。

高館山一帯を含む県立庄内海浜自然公園内にあって、東北地方日本海側の低標高地の代表的植生を残しており、周辺一帯では猛禽類のオオワシ、オジロワシ、オオタカなどを含め194種類もの鳥類の生息が確認されています。

毎年冬にはマガモが2～3万羽、コハクチョウが1～3千羽飛来する集団渡来地として国指定の特別鳥獣保護区となっています。また、山形県内でも有数のトンボの生息地でもあります。

一方、以前は、下池でとれるフナ、ジュンサイやエビが人々の貴重な食料として利用されており、現在でも上池ではハスの花や葉、レンコンの収穫が行われ旧盆には仏前に供えられるなど、人々の暮らしと密接な関わりを持つ池です。

関連情報

鶴岡市ホームページ

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/ooyama-ramsar/index.html>